

## 学長メッセージ



去る9月27日の府中新キャンパス・オープニング・セレモニーでのブラームス「大学祝典序曲」の演奏は、まさに新校舎が落成したときの喜びを表現したこの曲を、巨大な研究講義棟のガレリア空間に見事に響かせただけあって、多くの来場者に強い感動を与えたようである。ある同僚教官は、「身震いするほどの出来栄えでした」と語っていたようで、オーストリア大使館の参事官は、「演奏は本当に学生オーケストラなのですか」とわざわざ私に手紙を書いてきて賞賛されていた。皆さんの厚意でコンサートマスターをつとめさせていただいた私にとっても、生涯の記念であり、感謝している。

このように実力をつけてきた東外大オーケストラが、第60回という区切りの定期演奏会で、今回はロシア風とボヘミア風の、つまりスメタナ、チャイコフスキー、ドヴォルジャークのいずれも有名な大曲に取り組むという。私は、冷戦体制崩壊後に永い亡命生活から祖国に戻ってチェコ・フィルを指揮した巨匠ラファエル・クーベリックの「我が祖国」を多大の感動をもって聴いているので、気鋭の橋直貴さんが指揮する東外大オーケストラの「我が祖国」と、ぜひ聴き較べてみたい。

東京外国語大学学長 中嶋嶺雄 中嶋嶺雄

## 顧問あいさつ



府中新キャンパスに移転して最初の定期演奏会を迎えた。9月末のオープニング・セレモニーでの大学祝典序曲は、多くの方々から高い評価を得ることができ、私としてもとても嬉しかった。そして今日は、スラブ圏の名曲をずらりと並べた、ポピュラー・コンサート。外語オケの実力が問われる舞台といつてよい。とりわけ荒井英治先生をソリストにお招きしてのチャイコフスキーのVn協奏曲は、何度聴いてもいつも新しい発見に出会える類まれな傑作。ソロ・ヴァイオリンの響きに啓発され、インスピレーション溢れる伴奏を聞かせてくれることを願ってやまない。来年はもう21世紀。橋直貴先生の愛情あふれる指導のもと、外語オケもまた新しい歩みを開始しようとしている。ここしばらくは苦勞の時を耐えることになるが、私としても最善のことはしたいと思っている。最後に、今回の定期演奏会のために変わらぬご尽力を下さったトレーナーの先生方に篤くお礼を申し述べたい。

東京外国語大学管弦楽団顧問 亀山郁夫 亀山郁夫

## 団長あいさつ



本日はお忙しい中、東京外国語大学第60回定期演奏会にお越し頂き、まことにありがとうございます。

10月からキャンパスが府中市に移転し、私たちは新しい環境の中で活動をスタートさせました。実際は新旧キャンパスを使い分ける日々で、多くの方に支えられながら、今回の演奏会を行うことができました。素晴らしいヴァイオリン・ソリストの荒井先生をお迎えすることができたのは大変な幸運です。そしてご指導賜りました諸先生方には心より感謝申し上げますとともに、寄付金を支援して下さったOB/OGの皆様、楽器置場と練習場所を提供して下さった多磨教会の広瀬牧師様には、この場を借りまして厚く御礼申し上げます。

東京外国語大学管弦楽団団長 岡伊陽子



## 常任指揮者 橘 直貴

札幌市出身。88年桐朋学園大学音楽学部(ホルン専攻)入学。卒業後同大学研究科を経て94年より97年まで同大学の付属機関である指揮教室に在籍。これまでに、指揮を岡部守弘、紙谷一衛、湯浅勇治、黒岩英臣の各氏に、ホルンを安原正幸氏、チェンバロを鍋島元子氏に師事する。また、大学在学中シエナ・ウィンドオーケストラに入団、95年4月まで同団のホルン奏者を務める。現在、各地のオーケストラ、合唱団の指揮者、及びトレーナーとして活動中。

本日はようこそお出で下さいました。本日のプログラムのひとつの目玉、ともいえますのはチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲(コンチェルト)でしょう。本来、音楽作品全般に対する言葉として、器楽作品に広義な意味でこの「コンチェルト」という名称が使われました。ここには現在日本語で訳されているように、協奏という意味も勿論ありますが、競い合う、という意味あいも含まれます。今回も素晴らしいソリストをお迎えして、

外語大オーケストラがソリストといかなる協奏、また競奏関係を繰り返すのか、どうぞご注目下さい。

一番最初に演奏します「モルダウ」は親しみやすい旋律と、その曲想の美しさからあまりにもポピュラーな作品のひとつです。しかし実際に演奏すると、その難しさに誰しもが気付くことでしょう。モルダウ川がその水源を發し、せせらぎながらやがてひとつの雄大な流れとなってプラハの街に注がれる、という一連の波のモチーフは弦楽器や木管楽器の16分音符の細やかな動きで表現されます。それを実際に弾き(吹き)込んで音にしてアンサンブルを創り上げる、その努力のあとが聴いて取れることでしょう。またこの曲の演奏には今年4月に入部したての新しいメンバーが加わります。外語大オーケストラのフレッシュな顔ぶれにもご注目下さい。

メインプログラムとして、ドヴォルジャークの交響曲第7番を演奏します。あとに続く8番も、「新世界」の副題のついた有名な9番も勿論優れた作品ですが、この7番も相当な名作だと私は思います。彼特有の愛いを帯びた雰囲気、言い換えればスラヴ的なほの暗さを随所に聴くことが出来ます。どうぞご期待下さい。

最後になりますが、今年度新たに世代交代をした今年の3年生を中心に、今年もオーケストラがまとまりつつあるのを感じます。彼らと練習を通じて、ひとつのものを創り上げる作業は、私にとってはとても楽しいことでもありますし、且つ喜びでもあります。更に沢山の対話を重ねて、よりよい音楽を創っていきたく思います。今後とも永く外語大オーケストラの発展を見守り続けて下さい。では、コンサートを始めることに致しましょう！

2000年10月7日

橘 直貴



## ヴァイオリン独奏 荒井 英治

1957年生まれ。桐朋学園大学出身。ヴァイオリンを鈴木共子、江藤俊哉の各氏に師事。71年、全日本学生音楽コンクール中学校の部東日本第2位。73年、同コンクール高校の部全国第1位。

79年から新星日本交響楽団、80年から88年まで東京交響楽団のコンサートマスターを歴任。89年より東京フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスターを務め、現在に至る。

ソリストとしても活躍はめざましく、バーンスタイン、バルトーク、ショスタコーヴィチ、リゲティなどの協奏曲を、秋山和慶、大野和士、ルドルフ・バルシャイ、ヤーノシュ・コヴァーチュラと共演し、高い評価を受けている。室内楽においては92年、モルゴア・カルテット結成に参画し、ショスタコーヴィチの弦楽四重奏全曲のシリーズを展開、広く注目を浴びている。これまでに東芝EMIよりショスタコーヴィチやロック・アルバム

など、4枚のCDがリリースされている。さらに平成10年度の「村松賞」を受賞した。

また、荒井英治合奏団を組織し、95年よりBunkamura「モースト・モーツァルト・フェスティバル」に参加。A.メネセス、N.サレルノ＝ソネンバーグ、P.ズーカーマン、F.ルルー、G.シュワルツなど著名な音楽家と共演している。現在、「無伴奏」シリーズを継続して行っており、J.S.バッハの作品を初めとする、ヴァイオリンのための音楽の可能性を追求している。

これまでにライヴノーツ・レーベルよりソロ・アルバム「ザ・ソロ・ヴァイオリン」と「ヴァイオリンリサイタル」を、マイスターミュージックより「バガニーニアーナ」をリリースしている。



## コンサートミストレス 村中 奈々

村中奈々は「な」が多い。奈々の笑顔には人を元気にする力がある。明るい笑顔で人をつつみこみ、一年生の指導にも熱心。合宿では昼はコンミス、夜はレク係を務め、大忙し。いつもオケのことを考え、家では布団の上で座って深夜まで練習に励む。外食時には肉を好んで食べる。宝塚とクマテツをこよなく愛する。猫も好き。お茶目な言動で周囲の人々をいつの間にかとりこにしてしまう魔性的な一面をもつ。愛猫2匹と暮らしているせいか、なんだか猫っほい。とても頼れる奈々とパートナーを一緒に出来て本当によかったなり。(マイケル)

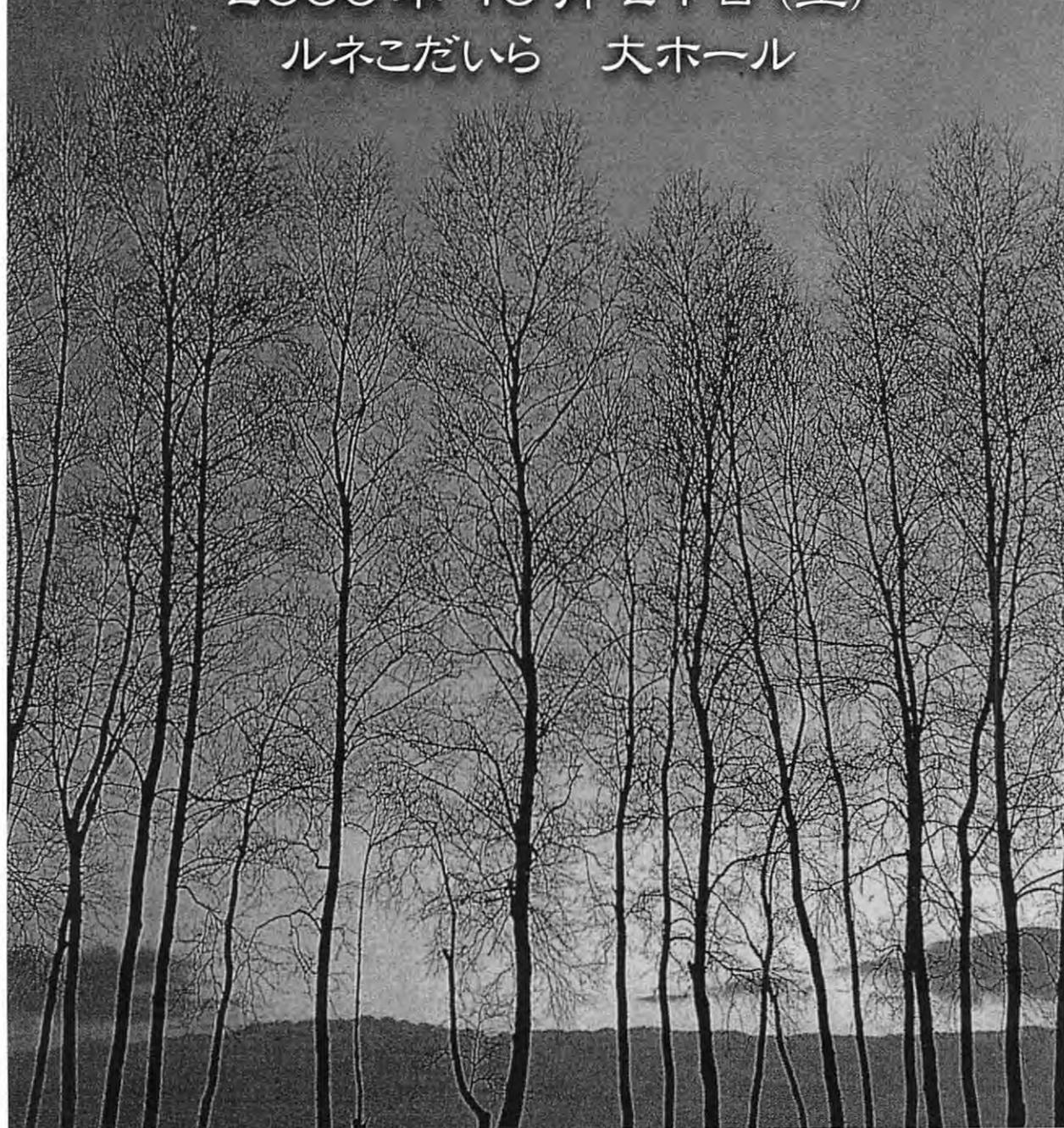
苦しいことも悲しいことも笑顔の下に隠して、村中奈々は今日も弾く。

ヴァイオリンパート同期一同

# 東京外国語大学管弦楽団 第60回定期演奏会

2000年10月21日(土)

ルネこだいら 大ホール



東京外国語大学管弦楽団  
第60回定期演奏会

スメタナ 連作交響詩「我が祖国」より交響詩「モルダウ」

Bedrich Smetana Symphonic Poem "Moldau" from "My Fatherland"

チャイコフスキー ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品35

Peter Iliyeh Tchaikovsky Concerto for Violin and Orchestra in D major, Op. 35

- I Allegro moderato
- II Canzonetta (Andante)
- III Allegro vivacissimo

————— 休 憩 —————

ドヴォルジャーク 交響曲第7番 ニ短調 作品70

Antonin Dvorak Symphony No. 7 in D minor, Op. 70

- I Allegro maestoso
- II Poco Adagio
- III Scherzo: Vivace
- IV Finale: Allegro

指揮 橘 直貴

ヴァイオリン独奏 荒井 英治

(東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター)

2000年10月21日(土) 14:00開演

ルネこだいら 大ホール